

B.2 モニタリング実績

(1) 活動量（燃料消費量、生成熱量、生産量等）

モニタリング項目			モニタリング方法			モニタリング実績		備考
記号	定義	単位	分類 ※1	概要	頻度	実績値	計測対象期間 (年月日～年月日)	
<i>EL_{pv}</i>	プロジェクト実施後の太陽光発電設備による発電電力量	kWh/年	C	電力量計による計測結果を読み取り記録する。	月	19,134.5	2016.3.1～2016.3.31	2015年度 【1年 ≤ t < 2.5年】
						172,884.8	2016.4.1～2017.3.31	2016年度 【1年 ≤ t < 2.5年】
						101,501.2	2017.4.1～2017.8.31	2017年度 【1年 ≤ t < 2.5年】
						63,035.9	2017.9.1～2018.3.31	2017年度 【2.5年 ≤ t】
						141,210.1	2018.4.1～2019.3.31	2018年度 【2.5年 ≤ t】
						96,934.4	2019.4.1～2019.10.31	2019年度 【2.5年 ≤ t】

※1 プロジェクト計画書に記載した分類（分類A・B・Cのいずれか）とすること。

(2) 係数（単位発熱量、排出係数、エネルギー消費効率、物性値等）

モニタリング項目			モニタリング方法			モニタリング実績		備考
記号	定義	単位	分類 ※1	概要	頻度	実績値	計測対象期間 (又は計測時期)	
<i>CEF_{electricity,y}</i>	電力のCO2排出係数	t-CO2/kWh	III	デフォルト値（移行限界排出係数）を使用する。	年	0.000531	2016.3.1～2016.3.31	2015年度 【1年 ≤ t < 2.5年】
						0.000519	2016.4.1～2017.3.31	2016年度 【1年 ≤ t < 2.5年】
						0.000515	2017.4.1～2017.8.31	2017年度 【1年 ≤ t < 2.5年】
						0.000496	2017.9.1～2018.3.31	2017年度 【2.5年 ≤ t】
						0.000463	2018.4.1～2019.3.31	2018年度 【2.5年 ≤ t】
						0.000463	2019.4.1～2019.10.31	2019年度 【2.5年 ≤ t】

※1 プロジェクト計画書に記載した分類（分類I・II・IIIのいずれか）とすること。

B.3 排出削減量の算定方法

B.3.1 排出削減量の評価

(1) 算定の対象とした排出活動に基づく排出削減量の算定

注) 主要排出活動及び、付随的な排出活動のうちプロジェクト計画書において「排出量を算定する」とした活動のモニタリング結果に基づき排出削減量を算定すること。

$$ER = EM_{BL} - EM_{PJ} \quad (\text{式 1})$$

記号	定義	単位	算定値
ER	算定の対象とした排出活動に基づく排出削減量	tCO2	293.3
EM_{BL}	ベースライン排出量 ※1	tCO2	293.3
EM_{PJ}	プロジェクト実施後排出量 ※2	tCO2	0.0

※1 B.3.2のベースライン排出量で算定した全ての排出量の総和を記載すること。

※2 B.3.4のプロジェクト実施後排出量で算定した全ての排出量の総和を記載すること。

※3 B.3.4まで入力後、自動計算されます。

(2) 付随的な排出活動に基づく排出量の影響度による評価

注) プロジェクト計画書において「排出量を算定する。ただし、排出量のモニタリングを省略し、影響度により排出量を評価する」と選択したプロジェクト実施後の付随的な排出活動の排出量の評価を行うこと。(1)で算定した排出削減量に対して計画書で定めた影響度を乗じて算定を行うこと。

排出活動	影響度 (%) ※1	排出量 (tCO2)

※1 プロジェクト計画書で評価した影響度を記載すること。

(3) 排出削減量の評価

注) (1)で算定した排出削減量から(2)で評価した排出量を差し引くことにより、排出削減量を算定すること。

記号	定義	単位	算定値
ER	排出削減量	tCO2	293.3
	(1)で算定した排出削減量	tCO2	293.3
	(2)で評価した排出量 (※1)	tCO2	0.0

※1 (2)で評価した排出量の総和を記載すること。行を追加して記載した場合には、合計の参照範囲を確認すること。

B.3.2 プロジェクト実施後排出量

注) 主要排出活動及び、付随的な排出活動のうちプロジェクト計画書において「排出量を算定する」とした排出活動について、プロジェクト計画書で策定した考え方及び算定方法に基づき計算を行うこと。また、記載例に示すように各項目ごとの評価式を記載した上で、各パラメータの定義及び本報告において認証を申請する期間の実績値を表中に記載すること。

(1) 主要排出活動

(考え方) ※1 方法論「太陽光発電設備の導入」ではプロジェクト実施後の主要排出量は0 (t-CO2/年) である。

$$EM_{PJ,M}=0 \quad (\text{式3})$$

記号	定義	単位	実績値
$EM_{PJ,M}$	プロジェクト実施後の主要排出量	tCO2/年	0

※1 主要排出量の算定の考え方について記載例を参考に記入すること。

(2) 付随的な排出活動

(考え方) ※1 本プロジェクトでは、付随的な排出活動の評価対象であるパワーコンディショナーにおける電力消費量を差し引いた電力消費量を計測する。待機電力は「2W/台 (仕様書より)」であるが、発電していない時間が不確定なため保守的に24時間として待機電力を計算すると、待機による年間消費電力は「2W×24H×365日×20台=350.4kWh」となる。これは排出量でいえば0.194~0.199 tCO2に相当し、影響度は0.2%と小さい。よって、排出量の算定を省略する。なお、蓄電池設備の導入はない。

(式)

記号	定義	単位	算定値
$EM_{PJ,S}$	プロジェクト実施後の付随的な排出量	tCO2/年	0

※1 付随的な排出量の算定の考え方について記載例を参考に記入すること。

B.3.3 ベースライン排出量の考え方

注) プロジェクト計画書で策定した考え方及び算定方法に基づき計算を行うこと。
また、記載例に示すように各項目ごとの評価式を記載した上で、評価に用いるパラメータの説明及び報告対象期間の実績値を表中に記載すること。

(1) ベースライン排出量の考え方

本プロジェクトにおけるベースライン排出量は、プロジェクト実施後に自家消費した電力量を、プロジェクト実施後の太陽光発電設備からではなく、系統電力等から得る場合に想定されるCO2排出量である。

(2) ベースライン活動量（発電電力量、蒸気の供給量又は製品の生産量等）の算定式

$$EL_{BL} = EL_{PJ} - EL_{PV} - EL_{PVR} \quad (\text{式7})$$

記号	定義	単位	実績値
EL_{BL}	ベースライン系統電力使用量	kWh	594,700.9
EL_{PJ}	プロジェクト実施後の太陽光発電設備による発電電力量のうち自家消費した電力量	kWh	594,700.9
EL_{PV}	太陽光発電システムの発電量	kWh	594,700.9
EL_{PVR}	太陽光発電システムの発電量のうち電力量電力系統に逆潮流した電力量	kWh	0.0

B.3.4 ベースライン排出量

注) プロジェクト計画書で策定した考え方及び算定方法に基づき計算を行うこと。
また、記載例に示すように各項目ごとの評価式を記載した上で、評価に用いるパラメータの説明及び報告対象期間の実績値を表中に記載すること。

(1) 主要排出活動

$$EM_{BL} = EL_{BL} \times CEF_{electricity,t} \quad (\text{式8})$$

記号	定義	単位	実績値
$EM_{BL,M}$	ベースラインの主要排出量	tCO2	293.3
EM_{BL}	①:2016.3.1~2016.3.31 ベースラインの排出量【1年 \leq t<2.5年】	tCO2	10.1
EM_{BL}	②:2016.4.1~2017.3.31 ベースラインの排出量【1年 \leq t<2.5年】	tCO2	89.7
EM_{BL}	③:2017.4.1~2017.8.31 ベースラインの排出量【1年 \leq t<2.5年】	tCO2	52.2
EM_{BL}	④:2017.9.1~2018.3.31 ベースラインの排出量【2.5年 \leq t】	tCO2	31.2
EM_{BL}	⑤:2018.4.1~2019.3.31 ベースラインの排出量【2.5年 \leq t】	tCO2	65.3
EM_{BL}	⑥:2019.4.1~2019.10.31 ベースラインの排出量【2.5年 \leq t】	tCO2	44.8
EL_{BL}	①:2016.3.1~2016.3.31 ベースラインの排出量【1年 \leq t<2.5年】	kWh	19,134.5
EL_{BL}	②:2016.4.1~2017.3.31 ベースラインの排出量【1年 \leq t<2.5年】	kWh	172,884.8
EL_{BL}	③:2017.4.1~2017.8.31 ベースラインの排出量【1年 \leq t<2.5年】	kWh	101,501.2
EL_{BL}	④:2017.9.1~2018.3.31 ベースラインの排出量【2.5年 \leq t】	kWh	63,035.9
EL_{BL}	⑤:2018.4.1~2019.3.31 ベースラインの排出量【2.5年 \leq t】	kWh	141,210.1
EL_{BL}	⑥:2019.4.1~2019.10.31 ベースラインの排出量【2.5年 \leq t】	kWh	96,934.4
$CEF_{electricity,t}$	①:2016.3.1~2016.3.31 ベースラインの排出量【1年 \leq t<2.5年】	t-CO2/kWh	0.000531
$CEF_{electricity,t}$	②:2016.4.1~2017.3.31 ベースラインの排出量【1年 \leq t<2.5年】	t-CO2/kWh	0.000519
$CEF_{electricity,t}$	③:2017.4.1~2017.8.31 ベースラインの排出量【1年 \leq t<2.5年】	t-CO2/kWh	0.000515
$CEF_{electricity,t}$	④:2017.9.1~2018.3.31 ベースラインの排出量【2.5年 \leq t】	t-CO2/kWh	0.000496
$CEF_{electricity,t}$	⑤:2018.4.1~2019.3.31 ベースラインの排出量【2.5年 \leq t】	t-CO2/kWh	0.000463
$CEF_{electricity,t}$	⑥:2019.4.1~2019.10.31 ベースラインの排出量【2.5年 \leq t】	t-CO2/kWh	0.000463

(2) 付随的な排出活動

(考え方) ※1 本プロジェクトで摘要する方法論では、ベースラインの付随的な排出活動は規定されていないため、付随的な排出活動は評価しない。

(式)

記号	定義	単位	実績値
$EM_{BL,S}$	ベースラインの付随的な排出量	tCO2/年	

※1 付随的な排出量の算定の考え方について記載例を参考に記入すること。

B.4 省エネルギー量の算定

燃料種別（※1）	認証を申請する期間（ 年 月 日～ 年 月 日）							
	エネルギー使用量			熱量換算（GJ）※2		原油換算（Kl）※2		
	単位	ベースライン	プロジェクト実施後	ベースライン	プロジェクト実施後	ベースライン（①）	プロジェクト実施後（②）	ベースライン－プロジェクト実施後（①－②）
A重油	k l							0.0
L P G	t							0
天然ガス	千Nm ³							0
L N G	t							0
都市ガス	千Nm ³							0
購入電力	k W h							0
							合計	0

※1表に記載の燃料以外を用いる場合には、行を追加して記載すること。

※2熱量換算及び原油換算において用いる換算係数については、エネルギー使用の合理化に関する法律（省エネ法）施行規則第4条に規定する換算係数を使用すること。

B.5 再生可能エネルギー量の算定 (該当する項目のみ記入)

(1) 再生可能エネルギー由来の発電量

認証を申請する期間(2016年3月1日 ~ 2019年10月31日)			
ベースライン	プロジェクト実施後		再生可能エネルギー由来の発電量 ③×(1-②/①)
①排出量	②付随排出量	③発電量(自家消費分のみ)	
[t-CO ₂]	[t-CO ₂]	[kWh]	[MWh]
293.3	0	594,700.9	594.7

(2) 再生可能エネルギー熱の利用量

認証を申請する期間(年 月 日 ~ 年 月 日)			
ベースライン	プロジェクト実施後		再生可能エネルギー熱の利用量 ③×(1-②/①)
①排出量	②付随排出量	③生成熱量	
[t-CO ₂]	[t-CO ₂]	[GJ]	[GJ]